

電源開発株式会社向け「トランジション・リンク・ローン」の アレンジャー就任について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、電源開発株式会社（代表取締役社長：渡部 肇史、以下「Jパワー」）に対するシンジケーション方式の「トランジション・リンク・ローン（以下「TLL」）」のアレンジャーに就任しました。

TLLは、脱炭素社会実現に向け、脱炭素化・低炭素化を推進する企業の移行の取り組みを金融機関として支援することを目的としたローンです。

金融機関は、借入人のトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定することで、借入人にトランジション戦略の実現に対するインセンティブを与え、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としています。

本TLLにおけるSPTは、「2025年度にJパワーグループ国内発電事業のCO₂排出量を700万トン削減（2017-2019年度の3カ年平均実績比）すること」とし、当該SPTの達成状況と融資条件を連動させることとしています。

Jパワーグループでは、2021年2月に、2050年のカーボンニュートラルと水素社会の実現に向けた戦略として「J-POWER “BLUE MISSION 2050”（※1）」を公表し、「CO₂フリー電源の拡大」「電源のゼロエミッション化」「電力ネットワーク」の3つを柱として、電力の安定供給を維持しながらカーボンニュートラルへのトランジションに取り組んでいます。

Jパワーは、これらの取り組みを着実に進めるための資金調達に向け、「グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク（※2）」を策定し、当該フレームワークについて、第三者評価機関であるDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社よりトランジションファイナンスに係る各種基準等への適合性に関するセカンド・パーティ・オピニオンを取得（※3）しています。

なお、当該フレームワークの策定にあたっては、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎、以下「みずほ証券」）が、ストラクチャリング・エージェントとして支援しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、脱炭素化に向けたお客さまの事業の強化・転換をサポートするため、ファイナンスや助言、ソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

<本トランジション・リンク・ローンの概要>

借入額：300億円

借入期間：5年間

借入時期：2023年2月

アレンジャー：みずほ銀行

貸付人：国内金融機関

ストラクチャリング・エージェント：みずほ証券

第三者評価機関：DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

(※1) 「J-POWER “BLUE MISSION 2050”」

<https://www.jpower.co.jp/bluemission2050/>

(※2) 「J-POWER グループ グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク」

https://www.jpower.co.jp/news_release/pdf/news221118_1-2.pdf

(※3) DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社のウェブサイト

https://www.dnv.jp/about/overview/business_assurance.html

以上